



日本大学三島高等学校 同窓会会報

Vol. 44

2015.3.4



新たな船出に向けて

～同窓会の1年間を振り返る～

会長 日置 信弘

(第3期生 (富士市在住))

同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。母校卒業後、多方面でリーダーとしてご活躍の皆様に敬意を表しますと共に、同窓会活動に対し、ご理解、ご支援を賜っておりますことに感謝申し上げます。この場をお借りし衷心より御礼申し上げます。

昨年は御嶽山の噴火や全国各地の集中豪雨による水害等、天災に脅かされた1年でした。今年こそ穏やかで平穏な年であって欲しいと願っています。

さて、同窓会にあっては当初掲げた『同窓会の自立』が念願でした。その第一歩が同窓会会計の自主管理、自主運用です。その為に私たち同窓会役員一同が一丸となって学校側と話し合ってきました。その結果、日本大学国際関係学部渡邊武一郎学部長、大村正文事務局長のご理解をいただき、実現に向かって歩み始めることができました。同時に、私たち役員一同の責任の重大さを痛感しております。同窓会は卒業生が卒業時に納める終身会費及び行事に参加する人たちの会費で運営されます。その会費は、例えば、母校創設50周年の節目には校舎建設の一助となるように1億円を寄付しました。また母校創設50周年記念事業の実施に全面的に協力し、在校生に向けて仙台フィルハーモニー管弦楽団の演奏会、学校祭の桜陵祭では「ウォーターボーカーズ」の記念公演、一般市民の方々にも公開し大盛況であった船越英一郎氏（19期生）を招いてのトークショーなどに使われました。さらに毎年、学業、文化、スポーツ等に顕著であった在校生に対して表彰も行っております。このように私たち同窓会は5万3千人の卒業生の皆様からお預かりした貴重な財産をこれからも母

校の発展のため、さらに同窓会発展のために有意義に活用させていただきます。

同窓会は人と知恵の出会い究極の異業種交流の場です。卒業生が集い、親睦と融和を図り、母校発展に貢献できるよう努めて参りたいと思います。同窓会の充実なくして母校の発展はなく、母校の発展なくして同窓会の発展はない。母校と同窓会は車の両輪。お互いを敬い思いやる心、信頼関係を大切にして大きな「絆」を育んでいきたいと思います。

日本大学三島高等学校同窓会が、今後、益々充実発展していくために大きな一步を踏み出したところです。私たち役員一同が一丸となって同窓会と母校発展のために尽力していく所存です。同窓会は、時にはするどく社会の動静を伝え、意見を述べるとともに、最強の応援団であるべきと考え、これからも母校に支援できることを模索して参りたいと思います。

母校と同窓会の発展のために皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。





母校は心のふるさと

日本大学三島高等学校・中学校校長 津幡 晴樹

同窓会の皆様におかれましては、益々ご清栄のことと存じます。日頃から母校の発展のためにご指導や厚情を賜り、心から感謝申し上げます。

第5期629名の卒業生の皆さん、いよいよ卒立つ日が近づいてきました。この三年間に皆さんには心身ともにめざましい成長を遂げ、晴れの日を迎えようとしています。

高校生活の三年間、勉強や部活動に汗を流し、多くの仲間と共に喜び悲しみ、悩んだ体験は、青春時代の思い出として大切なものです。日大三島で得た友は生涯の友です。年齢を重ね、高校時代を振り返った時、懐かしく思うことでしょう。

日大三島は「自由と規律」の校訓のもと、高い「志」を掲げ「思いやり」と「信頼」の絆でつながっています。

本校の同窓会員は53,326名を数え、国内外の各分野において活躍しています。皆さんも2月21日、同窓会入会式を行い、卒業と同時に同窓会の一員になります。今年度の同窓会入会式では記念講演と一字揮毫を京都清水寺 森清範貫主にお願いいたしました。3年生が選んだ漢字一字は「楽」でした。この漢字から高校時代のいろいろな事が想像できると思います。

さて、付属高校生対象の日本大学への推薦入試制度が、平成25年度の入学生より大きく変わり、今年度卒業の3年生が最後の「統一テスト」でした。今後は毎年4月と高校3年次の9月に実施される「基礎学力到達度テスト」になります。中でも高校2年生の4月、高校3年生の4月及び9月に実施した3回のテストの結果は、日本大学への進学に大きく関わります。このテストの導入により、基礎学力到達度テストの結果を利用する「基礎学力選抜」方式と「付属特別選抜」方式を主とした付属高校生を対象とした推薦入試となります。この制度の導入の

目的は、各高校においてしっかりした学力を身につけ、より多くの生徒を日本大学で受け入れることにあります。1回の勝負で決める方式から積み重ねを重視する方式へ。さらに平成25年度の高校3年生から全付属高校共通のテキストを使った卒業前教育を実施し、高校から大学への接続がスムーズに行くように取り組みを始めております。

施設・設備ではグラウンドの人工芝工事が平成26年10月末に完成し、授業や部活動等に使用しています。新体育館については、当初の予定より遅れ、平成28年6月末までに1階に食堂と多目的運動場・トレーニングルーム、2階にはバスケットボールコート四面を備えた総合体育館を建設し、充実した教育環境の整備をめざします。

今後も、教職員一同、力を合わせて努力してまいります。同窓会の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。



変わる本校の施設

平成26年11月、グラウンドの全面人工芝化の工事が終了し、完成しました。特に冬場の強風時には学校周辺まで砂が舞うような状態でありましたが、これも改善されることになります。

現在、新体育館の建設工事が始まり、来年の夏には完成することとなります。充実した施設は、学校の教育環境を変えていきます。一度、訪ねてみませんか。



人工芝グラウンド



体育館(イメージ)



新入会員の言葉

人の繋がりを大切に

生徒会長 宮川 慶久

春風が心地よい季節となりました。私たちは3年前、この学校に期待と不安を胸に、入学しました。本校で過ごしたこの3年間の中で、沢山の人にお会い、共に笑い、共に苦しみ、たくさんの苦楽を友達や先生と過ごしてきました。この学校での経験は、この先の私たちの人生の大きな糧となることと思います。

私たちはいよいよ卒業し、晴れて伝統ある日本大学三島高等学校同窓会の会員となります。社会において活躍されている多くの先輩方とともに、私たちも後輩の憧れとなるような存在となり、さまざまな道において貢献していきたいです。また一人ひとりが同窓生という誇りを持ち、人の繋がりを大切に社会という新たな場所で活躍できるよう努めます。

最後になりますが、私たちの母校である日本大学三島高等学校の発展に寄与できるように尽力することを誓います。



新入会員を迎える

ことを成し遂げる空気

第42期生 松本 憲

卒業してから13年。13年前とは制服も校舎の様子も変わってしまいましたが、3月の澄んだ空気とやわらかい日の光、そして卒業という嬉しさと悲しさが共存する複雑な気持ちは昔も今も変わりません。3年生の担任として、みなさんを送り出す心のさみしさが満ち潮のようにゆっくりと押し寄せてくる一方で、同窓生としてみなさんを迎える喜びを実感しています。

私が日本大学三島高校を卒業し、これまでの人生を振り返ると、楽しい経験よりも、つらく苦しい経験の方が思い出されます。しかし私がそのような困難を乗り越え、成長してこられたのは、私のまわりにいつも「友」がいて、「ことを成し遂げる空気」に包まれていたからだと感じています。

学生の時から今も大切にしていることがあります。それは「自分から熱くなること」、そして「自分から動き出すこと」です。その姿を見て冷ややかになったり、離れていたりする人もいるかもしれません。しかし、同時にその思いを受け止めて、一緒に熱くなってくれる人が必ず現れます。だからこそ自信をもって良いことは良い、ダメなことはダメと言える自分でいることが大切です。そうすると、まわりの人間が入れ替わり、新しい「友」が次々と加わり、「ことを成し遂げる空気」がそこに生まれます。

肝心なことはその「空気」を自分で作り出すこと、そして良き「友」と繋がっていることです。厳しい社会を生き抜く中で、同窓生という「友」がいつでもそばにいることを忘れないでください。私もその一人として、55期生のみなさんの輝かしい未来を応援しています。

第55期生 代表一覧

代表
宮川 慶久 (18組)

— クラス代表 —

- | | |
|-------------|-------------|
| 1組 ■ 望月 天馬 | 11組 ■ 中川 拓人 |
| 2組 ■ 岩田 韶介 | 12組 ■ 畠山 倖穂 |
| 3組 ■ 桑名 陽平 | 13組 ■ 末安 直人 |
| 4組 ■ 菅沼 秀杜 | 14組 ■ 高橋 沙季 |
| 5組 ■ 庄司 朋矢 | 15組 ■ 川口 拓哉 |
| 6組 ■ 野口 駿太 | 16組 ■ 加藤 穂高 |
| 7組 ■ 深倉 功基 | 17組 ■ 岩澤 龍 |
| 8組 ■ 下田 未央 | 18組 ■ 西山 航平 |
| 9組 ■ 小野 雅也 | 19組 ■ 内村 大地 |
| 10組 ■ 清水 秀樹 | |

同窓会入会式・記念講演

平成27年2月21日(土)

同窓会入会式を母校8号館講堂にて行い、第55期生629名を迎えるました。入会式では同窓会長による新入会員への歓迎のあいさつがあり、卒業記念品を贈呈しました。また新入会員から誓いのあいさつをいただくとともに、同窓会では表彰規定により、奨学金を木村栄さん・加藤大明君・坂田敏明君・石井未桜さん・小林莉子さんの5名に渡しました。

入会式後の記念講演は、講師に京都清水寺貫主森清範先生をお迎えし、『見える命見えない心』というテーマで、お話をいただきました。事前に「3年間を回顧し心に残る一字」を募集した結果、最も多かった一字を当日、揮毫していただきました。また心の温まるたいへん興味深いご講演でした。



同窓会トピックス

参加しませんか？～ゴルフで親睦会～

支部合同の企画によるゴルフコンペを実施してまいりましたが、最近、広がってきています。同窓会のホームページにてお知らせしています。興味のある方は参加してみませんか。

情報を下さい

「第〇期生が同窓会を行う。」友人や恩師との再会で思い出話に花を咲かせるなどあると思います。その様子を、ぜひ『同窓会会報』にて紹介させて下さい。当日の写真や記事がありましたらご協力下さい。なお、同窓会の実施を考えている各期代表の方は、個人情報の問題もあります。事務局までご相談下さい。



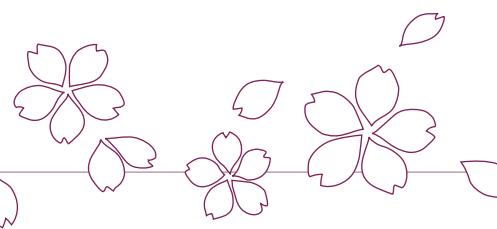
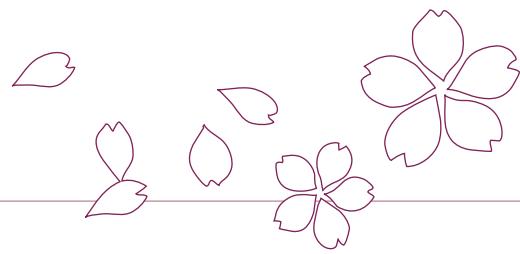
同窓会総会

平成26年6月13日(金) 於 三島プラザホテル

同窓会総会を三島プラザホテルにて開催しました。議事では平成25年度の活動報告・決算、平成26年度事業計画・予算・規約改正に関する案件などすべて承認されました。特に今年度は役員改選が行われ、日置信弘会長(3期)を選出し、新たな体制での船出となりました。ご来賓として母校校長津幡晴樹先生・日本大学国際関係学部長渡邊武一郎先生をお招きし、ごあいさつをいただきました。

総会後の懇親会では、会長のあいさつや還暦を迎えた方々(13期生)への記念品贈呈などがあり、和やかに進みました。毎年恒例となっている空くじのなしのくじ引き大会では、小田原支部が企画、大いに盛り上りました。





この度、静岡支部より、杉山智彦先輩・渡辺涉章先輩・岩田総生先輩が叙勲を受けました。おめでとうございます。
心よりお喜び申し上げます。

(静岡支部長 松村健一 第6期生)

春の叙勲

杉山 智彦さん

第2期生



「地域密着で約半世紀、自動車販売一筋。お客さんとの出会いを大切に、一台一台、娘を嫁がせるような気持ちで車を届けてきました。築き上げてきた人脈が何よりの財産。傾聴、コミュニケーションがこの仕事の一番の基本と考えています。受章は過去の先輩方の功績のおかげ。長年取り組んでいる交通安全活動も含め、今後も地域社会や業界の発展に力を尽くしていきたいです。」(静岡新聞 平成26年4月29日朝刊より抜粋)

旭日小綬章(自動車販売事業振興功労)受章

ネットトヨタ静浜(株)代表取締役会長

トヨタカローラ静岡(株)代表取締役会長

日本自動車販売協会連合会静岡県支部長

母校の思い出:

「通学路のイチョウ並木は今でも忘れていません。」



静岡支部紹介

平成6年に誕生。
俗称「静桜倶楽部
(せいおーくらぶ)」。

基本的に富士川以西
在住の卒業生を対象。
現在、会員数は約300名。



秋の叙勲

渡辺 涉章さん

第3期生



「42年間、「国民の奉仕者」としての自覚と責任を持ち、「相手の立場に立った確実な仕事」をするようにと心掛けてきました。先輩方の教えや職員の協力あっての受章であると深く感謝しております。本職以外にも、地区の民生委員などの大役を与えていただきました。今後は地域を支える応援団の一人として、陰ながらお力添えをしていきたいとおもいます。」

(静岡新聞 平成26年11月3日朝刊より抜粋)

瑞宝双光章(郵政事業功労)受章

元日本郵政公社職員(特定郵便局長)

母校の思い出:

「1年の龍澤寺への長距離走後、当時の体育の田中誠一先生(現、常葉大学副学長)より「陸上部に入れ」と言われた折、自己の長所を認めていただいたこと。先生に認められることは自信になりました。」

おめでとうございます

岩田総生さん(第2期生) 瑞双賞(警察功労)

静岡県警察本部 元警視長

取材後記

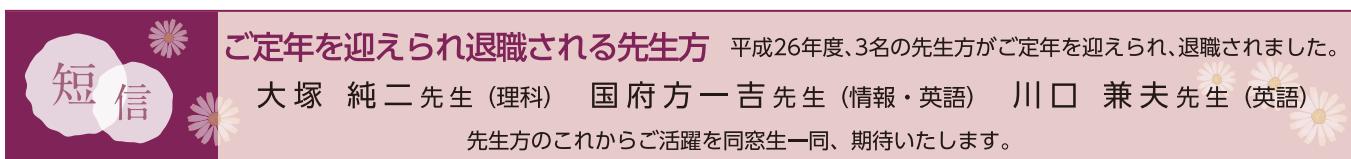
杉山先輩、渡辺先輩、本当に忙しい中、貴重なお時間をありがとうございました。お二人とも意気盛んで見習うばかりで、良き先輩をもって誇りに思いました。いつまでもお元気でご活躍をお祈りします。

(副会長 小澤薫)

同窓会役員一覧

役職	氏名	所属支部	支部長	氏名
会長	日置 信弘 (3期)	富士	三島支部長	柳田 和夫 (10期)
副会長	手島 正武 (3期)	沼津	沼津支部長	土屋 照夫 (4期)
//	宮澤 正 (4期)	田方	田方支部長	石井 真澄 (10期)
//	深澤 好幸 (7期)	富士宮	裾野支部長	西島 明彦 (7期)
//	関 礼子 (8期)	三島	御殿場支部長	芹澤 修治 (7期)
//	小澤 薫 (9期)	静岡	富士支部長	稻葉 邦文 (9期)
会計	杉本 雅俊 (3期)	沼津	富士宮支部長	望月 重人 (11期)
理事	高木 弘之 (1期)	沼津	静岡支部長	松村 健一 (6期)
//	橋本 倭 (3期)	沼津	小田原支部長	瀬戸 啓司 (9期)
//	村上 直人 (3期)	三島	熱海支部長	谷口 俊司 (2期)
//	佐野 勝巳 (4期)	田方		
//	藤池 年男 (4期)	裾野		
//	庄司 一洋 (7期)	沼津		
//	江藤 雄二 (9期)	沼津		
//	植松 敬之 (14期)	三島		
監査	内田 敏明 (3期)	田方		
//	鈴木 真雄 (14期)	沼津		

(平成26年度)



平成25年度

事業報告 (平成25年4月～平成26年3月)

1. 総会 平成25年6月14日(金) 三島プラザホテル

司会 富塚 繁幹事長

- (1) 開会の辞 副会長 手島 正武
- (2) 会長挨拶 会長 川口 功一
- (3) 来賓挨拶
日本大学国際関係学部学部長挨拶 学部長 佐藤三武朗先生
日本大学三島高等学校・中学校校長挨拶 校長 津幡 晴樹先生
- (4) 議事
 - ①平成24年度事業報告 ②平成24年度決算報告
 - ③会計監査報告 ④平成25年度事業計画案
 - ⑤平成25年度予算案 ⑥規約改正について
- (5) 閉会の辞 副会長 石橋 倍子
- (6) 懇親会 田方支部担当
 - ①開会の辞 ②挨拶 ③乾杯 ④懇親会 ⑤抽選会
 - ⑥校歌齊唱 ⑦閉会の辞

2. 会議

①役員会

- (1) 平成25年 4月24日(水) 母校会議室
- (2) 平成25年10月19日(土) 母校会議室
- (3) 平成25年11月30日(土) 母校会議室
- (4) 平成26年 1月25日(土) 三島プラザホテル新年役員会
- (5) 平成26年 3月12日(水) 母校会議室

②執行部会

- (1) 平成25年 4月 6日(土)
- (2) 平成25年 5月 9日(木) (監査会議)
- (3) 平成25年 9月 7日(土)
- (4) 平成25年10月11日(金)
- (5) 平成25年11月16日(土)
- (6) 平成26年 1月11日(土)
- (7) 平成26年 2月26日(水)

③支部長会

- (1) 平成25年11月15日(金) 母校同窓会室

3. 本部事業 (開催順)

- (1) 平成25年 5月19日(日) 桜陵祭 富士支部・女子部会

(2) 平成26年 2月15日(土) 母校8号館3階 9:30～11:30

- ①第54期生同窓会入会式
奨学生 2名 ・峰田悠衣さん(3-17) ・恒松弘基さん(3-18)
- ②記念講演会 講師: 大島 武
(一橋大学社会学部卒業・東京工芸大学芸術学部教授)
テーマ 「コミュニケーション再考～自分らしさを表現しよう～」
- (3) 平成26年3月4日(火) 同窓会会報 発行 第43号

4. 支部総会及び支部事業 (開催順)

(1) 合同事業

- 桜陵祭 平成25年 5月19日(日) 母校文化祭 富士支部・女子部会
- (2) 三島支部 総会 平成25年 5月 25日(土)

- (3) 富士支部 総会 平成25年 6月 29日(土) ペアステージ・ノイ研修会 平成25年 7月19日(金)

忘年会 平成25年11月29日(金) パークホテル

初詣 平成26年 1月 3日(金) 箱根駒伝観戦ツアー

- (4) 静岡支部 総会 平成25年 7月 6日(土)
ホテルアソシア静岡ターミナル

懇親 平成25年12月 1日(日) 伊勢神宮参拝(バス旅行)

懇親 平成26年1月23日(木) 月の音(新年会)

- (5) 沼津支部 総会 平成25年6月21日(金) 沼津リバーサイドホテル

- (6) 富士宮支部 総会 平成25年9月28日(土) 小川荘

- (7) 田方支部懇親会 平成25年5月26日(日) 源氏(新旧役員会)

- (8) 御殿場支部総会 平成25年6月22日(土) ホテル御殿場館

- (9) 裾野支部 総会 平成26年2月 9日(日) 勢力

事業 平成25年10月12日(土)
「パノラマロード花いっぱい運動」須山南外周道路

- (10) 小田原支部総会 平成25年10月 5日(土) 万葉の湯

新春の集い 平成26年 2月 8日(土) 魚がし

5. その他

- (1) 平成25年 6月23日(日) 朝霧カントリークラブ

静岡支部主催ゴルフコンペ(富士・沼津・静岡支部合同)

- (2) 平成25年10月27日(日) 朝霧カントリークラブ

富士支部主催ゴルフコンペ(富士・沼津・静岡支部合同)

- (3) 平成26年3月2日(日) 大仁カントリークラブ

田方支部主催ゴルフコンペ(雨天中止)

第55期生 同窓会
入会金の納入のお願い

日本大学三島高等学校同窓会では、第55期生の入会にあたり、同窓会規約にもとづいて、終身会費1万円を納入することをお願いしています。高校卒業時に、学校に納めた費用のうちより納入していただいているので、ご理解、ご了承いただきますようお願いします。

日本大学三島高等学校 同窓会会報 第44号

平成27年3月4日発行
発行者: 日置 信弘
編集: 事務局

〒411-0033 静岡県三島市文教町2丁目31番145号
TEL 055 (988) 3500 (高校事務課)
FAX 055 (988) 3517

日大三島高校

検索

日本大学三島高等学校URL

<http://www.mishima.nihon-u.ed.jp>

日大三島高校同窓会

検索

日本大学三島高等学校同窓会URL

<http://www.nu-mishima-dousou.jp/>

※同窓会規約は本会ホームページをご覧下さい。